

# 記入例

様式第1号

## 庄原市奨学金貸付申請書

申請者	ふりがな 氏名	しょうばら いちろう 庄原 一郎	性別 (男) 女	生年月日 昭和(平成) 00年00月00日生		
	現住所	〒727-8501 (電話) 0824-73-1182 庄原市中本町一丁目10番1号				
	在学する 学校等	学校名：庄原市立〇〇中学校 第 3 学年 令和〇〇年〇〇月〇〇日 (修了・卒業 予定) 学校名：広島県立〇〇高等学校 普通科 第 1 学年 令和〇〇年〇〇月〇〇日 (進学) 在学 予定)				
保護者	氏名	庄原 太郎	(電話) 0824-73-1182			
	現住所	〒727-8501 庄原市中本町一丁目10番1号				
家族構成等	氏名	続柄	年齢	氏名	続柄	年齢
	庄原 太郎	父	〇〇			
	庄原 花子	母	〇〇			
	庄原 次郎	弟	〇〇			
内訳	期間：令和6年4月から令和9年3月まで(36月分) 月額：18,000円 × 36月分 = 648,000円					
申請事由	(家庭の経済状況等について)					
	【記載例】両親は自営業を営んでいますが、収入が一定ではなく、2人兄弟で学校の学費がかかるため、今後の両親の経済的負担を軽減したいと考え、庄原市奨学金の貸付を希望、申請します。					

庄原市奨学金の貸付を受けたく保護者連署のうえ関係書類を添えて申請します。  
ついては、記載事項は事実と相違ありません。

また、庄原市奨学金貸付条例第3条第6号について確認するため、市税の完納状況を調査することに異議なく承諾します。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

庄原市長様

申請者

(本人)

父母等

住所 庄原市中本町一丁目10番1号

氏名 庄原 一郎

住所 庄原市中本町一丁目10番1号

氏名 庄原 太郎

住所 庄原市東本町一丁目10番1号

氏名 庄原 花子

それぞれ、必ず本人が自署してください

※押印は不要です。

# 記入例

申請区分	1. 高等学校・専修学校（高等課程）		2. 大学		
	3. 短期大学・専修学校（専門課程）		4. 高等専門学校及び各種学校等		
	A. 国公立	B. 私立	他の奨学金利用の有無	有	
	ア. 自宅通学	イ. 自宅外通学		無	
家庭の状況	母子・父子世帯				
	○ 就学者のいる世帯				
	障害のある人のいる世帯		人 数	人	
	長期に療養を要する人のいる世帯		年間金額	円	
	主たる家計支持者が別居している世帯		年間金額	円	
就本人学を除く	氏 名	※公私別	※就学状況		※通学別
	庄原 次郎	国公立・私	小・中・高・大・高専・専修(高・専)		自宅・自宅外
		国公立・私	小・中・高・大・高専・専修(高・専)		自宅・自宅外
		国公立・私	小・中・高・大・高専・専修(高・専)		自宅・自宅外
		国公立・私	小・中・高・大・高専・専修(高・専)		自宅・自宅外
		国公立・私	小・中・高・大・高専・専修(高・専)		自宅・自宅外
		国公立・私	小・中・高・大・高専・専修(高・専)		自宅・自宅外

- (注) 1 ※の箇所は該当するものを○で囲むこと。  
 2 家庭の状況は該当する欄に○をすること。  
 3 障害のある人がいる世帯は、障害のある人の人数を記入してください。  
 4 長期に療養を要する人のいる世帯は、療養のため経常的に特別な支出をしている年間金額を記入してください。  
 5 主たる家計支持者が別居している世帯は、別居のために特別に支出している年間金額を記入してください。

### 【添付書類】

- ・ 父母又は扶養義務者の最新の市県民税課税台帳記載事項証明書（所得証明書）
- ・ 父母又は扶養義務者の住民票（謄本）の写し
- ・ 家庭の状況による控除を受けようとするときは、それを証明するもの